

地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



EVステーション(イオンモール今治新都市)

へらそう 作戦

エネルギー使用量
50%削減

2012年にスタートした「イオンのecoプロジェクト」では2020年度に2010年度比でエネルギー使用量50%削減を目標に掲げています。

当社が所有・運営するモールにおける
2017年度の削減率 **46.0%**
(2010年度比)

つくろう 作戦

再生可能エネルギー
20万kW

同プロジェクトでは太陽光パネルの設置を拡大し、2020年度までに20万kWの創電能力構築をめざしています。

当社が所有・運営するモールにおける
現在の創電能力 **約14,397kW**

省エネルギー / 自然エネルギーの活用

LEDの採用

近年にオープンしたモールでは共用部のLED採用率100%を達成。専門店にも新規モールオープン時や既存店リニューアル時にLEDの採用を呼びかけており、光の色や明るさが選べるようになってきたこともあって着実に切り替えが進んでいます。また、屋外の電飾サインにも消費電力の少ないLED光源ユニットを採用しています。

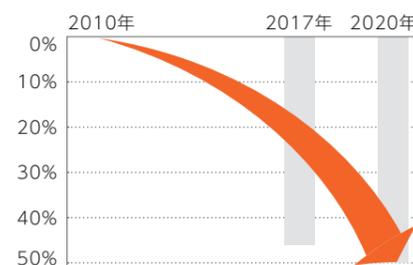
空調換気省エネシステムの導入

空調換気省エネシステムを導入し、高度なIT技術で施設全体のエネルギーを管理し、大幅な省エネルギーを実現。外気温度・湿度、室内温度・湿度、CO₂濃度を常時モニタリングし、電気設備、空調設備、給排水設備などをITでコントロール。エネルギー効率の最適化を図ります。

太陽光発電

他の商業施設に先駆けて太陽光発電システムを順次導入し、自然エネルギーを活用した創電を行っています。また、一部のモールでは災害などによる停電時にも太陽光パネルで発電した電力を活用できるシステムを採用しています。

2020年までの削減率目標 (2010年度比)



国内全モールにEV充電器を設置完了

今年度、当社が管理・運営を行う国内全142モール*でEV(電気自動車)充電器1,476基の設置を完了しました。EV車の普及が急速に進む中国においても、10モールに計461基を設置しています。また2017年11月に日本企業として初めて、企業による電気自動車の使用や環境整備促進をめざす国際的なビジネスイニシアチブ「EV100」へ正式参加しました。

*一部、プロパティ・マネジメント(建物の管理および運営をオーナーより受託)モールを除いています。



公共交通機関の利用促進

当社はお客さまが公共交通機関を利用してご来店いただける環境の整備に努めており、駅から徒歩圏内のモールの一部では、鉄道会社や交通局と連携して電車でご来店されたお客さまに特典を提供するなどの環境づくりを進めています。イオンモール筑紫野(福岡県)では、筑紫野市・福岡市・福岡県・JR九州・西鉄と協力してパーク&ライドの本格実施を2017年10月にスタート。平日に70台分の駐車スペースをご用意し、モールまでマイカーで来店された方が2路線の最寄駅から電車で博多や天神へ向かう乗り換えをサポートしています。



「ライトダウンキャンペーン2017」の実施

環境省が提唱する「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加し、2017年は夏至の6月21日およびクールアース・デーの7月7日、

20時から22時まで屋外照明の一部を消灯。全国イオングループの店舗や物流センターなど約1,700施設が参加して同時実施しました。また、このキャンペーンの一環として、イオンモール幕張新都心(千葉県)で環境負荷低減の観点から注目されるマグネシウム電池を用いて光る短冊やペンライトを作るワークショップを開催しました。



イオンモール千葉ニュータウン



イオンモール幕張新都心

クールシェア企画「涼も〜る」

イオングループが賛同する地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」への取り組みの一環として、昨年度に続き各モールで「涼も〜る」と称したクールシェア企画を実施しました。自習室の開放や水遊びなど、モールごとにさまざまなイベントを実施。イオンモールで楽しく快適な時間を過ごしていただく取り組みで、ご家庭のエアコン使用削減のきっかけをご提案しました。



イオンモール福岡

地域から地球へ、環境保全の推進

私たちは環境負荷を最小限に抑える最新の技術を導入し、地域の生態系を守る仕組みをつくり、省エネや廃棄物管理の徹底をすることで、自然と調和したまちづくりを推進します。



イオン ふるさとの森づくり 植樹祭 (THE OUTLETS HIROSHIMA)

スマートイオンの展開

「イオンのecoプロジェクト」を実践するために2012年9月から取り組みを開始した「スマートイオン」は、従来の環境負荷の少ない施設づくりに加え、地域と協働で取り組む視点を取り入れた5つの基準(スマートエネルギー/電子マネー・ネットとの融合/交通環境/生物多様性・景観/防災・地域インフラ)を策定。現在、イオングループで10拠点(うち9モールが当社運営)のスマートイオンが誕生しています。



緑あふれるモールづくり

壁面緑化/植栽

モール壁面の緑化は景観を向上するだけでなく、建物の断熱性を高めることで夏季の館内における温度上昇を抑制し、冷房で使用するエネルギーの削減につながります。また、各モールの周辺には随所に緑豊かな植栽を施し、自然との調和を図るとともに、うるおいのある憩いの空間を演出しています。



イオンモール神戸南

イオン ふるさとの森づくり

1991年にマレーシアでスタートした「イオン ふるさとの森づくり」。新しいモールがオープンする際には、地域の自然環境に最も適した、その土地に自生する樹木をお客さまとともに植えています。2018年2月末現在、累計植樹本数は約1,160万本(グループ合計)に達しています。

廃棄物削減とリサイクル

モールから出る廃棄物の削減では、専門店に協力をいただいて、「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題として意識づけることが重要です。各モールでは、廃棄物を基本18品目に分別したうえで品目ごとに計量するシステムを導入しています。専門店は各品目を計量した後、計量済みのシールを貼り、品目ごとの保管場所にまとめて廃棄します。分別されたごみのうち、可能なものについては極力リサイクルに回し、各品目ごとにリサイクル率を集計しています。2017年度のリサイクル率は86.1%でした。

資源回収・リサイクルの促進

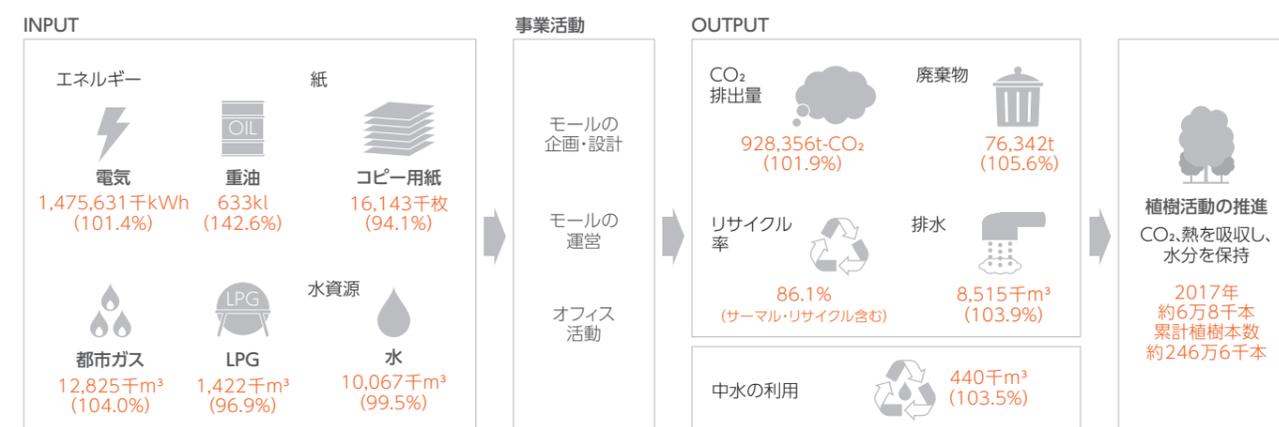
一部のモールでは、ご家庭の古新聞や古雑誌をお持ちいただいたお客さまに重量に応じたりサイクルポイントを発行して一定のポイントがたまるとイオン商品券と交換するシステムを導入し、古紙のリサイクルを促進しています。回収はモールに設置した専用のボックスで行うため、お買い物のついでにいつでもお持ちいただける点でもご好評をいただいています。また、お客さまのご家庭からペットボトルを回収し、WAONポイントを付与する取り組みも一部のモールで実施しています。



2017年度の廃棄物排出総量とリサイクル率

全社リサイクル率(サーマル・リサイクル含む) 86.1%		
項目別排出量とリサイクル率		
1	生ゴミ	16,660t 90.2%
2	段ボール	21,383t 100.0%
3	雑芥	21,293t 64.1%
4	廃プラスチック	3,365t 95.0%
5	ペットボトル	624t 100.0%
6	ビン	445t 96.4%
7	缶	647t 100.0%
8	発泡スチロール	123t 100.0%
9	廃油	1,919t 100.0%
10	紙類	2,794t 100.0%
11	粗大ゴミ	254t 87.0%
12	その他不燃ゴミ	1,300t 75.4%
13	蛍光灯	22t 80.3%
14	乾電池	10t 82.4%
15	ワリバシ	114t 92.5%
16	廃アルカリ・剥離剤	27t 59.1%
17	汚泥	5,361t 86.0%
18	廃エンジンオイル	2t —

2017年度インプット/アウトプット(国内77モール)



※対象は共有部分、イオン、テナントも含むモール全体。ただし廃棄物およびリサイクル率はテナントとイオンモール事務所が対象、コピー用紙はイオンモール事務所のみが対象となります。 ※ ()内は対前年比